

**自動車損害賠償保障特別会計 保障勘定
平成17年度特別会計財務書類の概要
貸借対照表**

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減		前年度	17年度	増減
< 資産の部 >				< 負債の部 >			
現金・預金	68	66	△2	支払備金等	9	9	0
未収金等	38	40	1	未経過賦課金	2	2	△0
一般会計繰入金	49	49	—	賞与引当金	0	0	△0
貸倒引当金	△27	△29	△1	退職給付引当金	1	1	△0
有形固定資産	0	0	0	負債合計	12	13	0
無形固定資産	0	0	0	< 資産・負債差額の部 >			
資産合計	128	126	△2	資産・負債差額	115	113	△2
				負債及び資産・負債差額合計	128	126	△2

業務費用計算書

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減
人件費	0	0	0
退職給付引当金等繰入額	0	0	0
自賠償保障費等	4	6	1
委託費	0	0	0
庁費等	0	0	0
減価償却費	0	0	0
貸倒引当金繰入額	1	1	0
本年度業務費用合計	8	10	1

資産・負債差額増減計算書

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減
前年度末資産・負債差額	117	115	△1
本年度業務費用合計(A)	△8	△10	△1
財源(B)	7	7	0
無償所管換等	△0	—	0
本年度末資産・負債差額	115	113	△2
(参考) (A)+(B)	△1	△2	△1

区分別収支計算書

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減
業務収支(7)	68	66	△2
財務収支(4)	—	—	—
本年度収支(7+4)	68	66	△2
翌年度歳入繰入	68	66	△2
本年度末現金・預金残高	68	66	△2

平成17年度について

資産合計は約 22 億円の減少、負債合計は約 4 億円の増加、資産・負債差額は約 26 億円の減少、業務費用は約 13 億円の増加となりました。

主な要因は、自賠償保障費等による現金・預金の減少です。

留意点

一般会計繰入金は、「平成6年度・平成7年度財特法」に基づいて自動車損害賠償保障事業特別会計から一般会計に繰り入れたものについて、将来繰り戻されることが規定されている金額を計上している。

主な増減内容

- 貸借対照表
(資産) 現金・預金の減 △26 億円
- 業務費用計算書
自賠償保障費等の増 14 億円
- 資産・負債差額増減計算書
本年度業務費用合計と財源合計との差額
(上記(A)+(B)により算出) △26 億円
⇒企業会計の「当期純損失」に相当
- 区分別収支計算書
前年度剰余金受入の減 △27 億円